

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 どもサポート教室「きらり」千曲校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 2

回収数 2

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2	0	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	2	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2	0	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	0	0	0		
保護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	0	0	0		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	0	0	0		

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	0	0	0		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	2	0	0	0		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2	0	0	0		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	2	0	0	0		・ありがとうございます。今後もお子さまが安心感をもって通所していただけるよう努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	2	0	0	0		・ありがとうございます。今後も楽しみにしていただけるよう、お子さまの興味のある活動を中心に「できた!」と自己肯定感を高められる活動を行ってまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	2	0	0	0		・ありがとうございます。お子さま、保護者様のご希望の活動を取り入れ得意なことや興味のあることを伸ばしていけるよう支援いたします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
こどもサポート教室「きらり」千曲校		2025 年 2 月 14 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・お子さまに合わせて適切な空間をパーティションで仕切っております。	・より安心して過ごしやすい環境となるよう配慮してまいります。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・11月より職員体制を増員いたしました。お子さまや保護者様に安心していただけるよう職員体制を整えております。	・今後も基準遵守に努めるよう最大限の努力をしております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・手洗い場やトイレなど、高さがあるところは踏み台を設置しております。その際危険のないよう職員が付き添っております。	・千曲校はビルの2階にあるため、階段の上り下りが必要となります。階段に心配のある場合は職員が付き添い、対応しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・室温、湿度などは感染症防止のためにも計測しております。掃除を毎日行い、清潔で安心できる環境を整えております。	・感染症に重きを置いて、玄関の手すりなどの消毒の実施や使用玩具、教材などの消毒も丁寧に行っております。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・パーティションで個別のスペースを区切り、お子さまが安心できる空間を整えております。	・個別の部屋は安全確保のため定めておりません。もし必要があれば、都度指導員が判断し、お子さまが安全に過ごすことができる環境を整えております。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・朝礼、夕礼、その都度情報共有の時間で目標設定や振り返る時間を設けております。	・研修の成果を生かしていきながら、指導員、児発管ともに考えあていく中でお子さまと保護者様のニーズに寄り添っていきよう努めてまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・保護者様との面談、年に1度の事業所評価などを行い保護者様等の意向等を把握できるよう努めております。	・保護者様からの発信をしやすくする工夫について検討してまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・朝礼、夕礼、その都度情報共有の時間で気軽に意見交換できるような時間を設けております。	・全職員が共通意識をもって業務を行っていくよう業務改善につなげてまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・利用者様、社内の2者評価を中心に行っております。	・事業所改善につなげるため、今後行えるように努めてまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・1か月の初任者研修、事例検討会などの研修、また法令研修などを実施しております。外部の研修にも積極的に参加しており、より良い支援にするため努めてまいります。	・今後も様々な分野の研修に参加する機会を設け、積極的に参加し、研修内容を支援に取り入れてまいります。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・5領域すべてを含めた総合的な支援プログラムを作成し、HPにて公表しております。	・インスタグラムやブログでも、公表していることを外部に周知してまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・計画期間ごとにアセスメントをとったうえで個別支援計画を作成しております。	・ご家庭や園での姿も大切に、そのアセスメントをもとに保護者様のニーズを客観的にとらえた上で、支援計画を事業所内支援者会議で検討し、作成しております。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・実際にお子さまに関わっている全職員と児童発達支援管理責任者が共通理解のもと、事業所内支援者会議を行い個別支援計画を作成しております。	・全職員が共通意識を持てるよう会議を行ってまいります。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・定期的なモニタリング、個別支援計画の見直しを行うことで職員間で情報共有をし計画に沿った支援を行っております。	・今後も計画に沿った支援に取り組んでまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・統一したアセスメントシートを使用しております。その中で日々の行動観察などインフォーマルなことも確認しております。	・今後も同様に対応してまいります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・アセスメントをもとに5領域を含めた総合的な個別支援計画を作成し、ガイドラインの項目に沿った支援を行ってまいります。	・今後も児童発達支援ガイドラインを遵守し、お子さまの心身ともに健やかな成長発達に沿った支援の設定が行えるよう、アセスメントを丁寧に行い、事業所内支援者会議などで考えあひながら取り組んでまいります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・その都度職員間で共有し、プログラムを立てております。	・様々な角度からの視点を持って活動プログラムを立案してまいります。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	・お子さま一人ひとりの特性や気持ち、興味に合わせて効果的に楽しく学べる支援を追及しております。次の学びにつながる成功体験を重視し、お子さまが自発的に適切な行動を取れる、学びやすい環境を整えております。	・複数の職員の見解や研修で学んだことを取り入れることで固定化を防ぎ、様々なプログラムになるよう取り組んでまいります。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	・日々のミーティング等でお子さまの事例を共有し、すり合わせを行っております。	・今後も様々な角度からの視点をもって活動プログラムを立案してまいります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	・朝礼を日次で行い、職員の具体的な動きが確認できるよう情報共有を行っております。	・今後も情報共有や活動内容の確認を行い、役割確認を行ってまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	・支援の内容やお子さまの様子などを共有し、全体で把握できるよう行っております。	・今後も支援後の情報共有を行い、支援に活かしてまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	・毎回支援記録をとり見直すことで、お子さまの成長や取り巻く環境の変化に合わせて、支援内容や方法を更新しております。	・今後も支援に対する記録を大切にしながら、今後の支援に役立ててまいります。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	・6か月に1回以上の計画更新を行っておりますが、保護者様との振り返りや職員間での情報共有の中で新たに課題が挙げられた場合はその都度見直しを行っております。	・今後も支援計画の見直しに役立ててまいります。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	・支援会議等で情報共有を行っております。	・今後も進学先への丁寧な情報共有を行い、お子さまが安心して進学していけるよう、連携を行ってまいります。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	・支援会議等で情報共有を行っております。	・今後も進学先への丁寧な情報共有を行い、お子さまが安心して過ごしていけるよう、連携を行ってまいります。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	・支援会議等で情報共有を行っております。	・今後も関係機関と情報共有を行い、相互理解を深めてまいります。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	・支援会議等で情報共有を行っております。	・今後も関係機関と情報共有を行い、相互理解を深めてまいります。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○	・地域の児童発達支援センターの支援見学や研修会に参加しております。	・今後も各関係機関との連携を大切にしながら、研修も積極的に参加してまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	・交流については、限られた支援時間の中での実施が難しいことから、イベントなどで利用者様全員に画一的に実施することはしておりません。	・ご要望に応じて検討してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	・毎回の支援終了後に保護者様へフィードバックの時間を設け支援の様子をお伝えし、課題の共通理解を行っております。	・今後も情報共有を行い、お子さまの支援について発達の様子を共有し、ともに発達をサポートしてまいります。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	・12月に「親子ふれあいサロン」を開催いたしました。	・ご要望に応じて検討してまいります。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	・運営規定、利用者負担などについて契約時に丁寧に説明するとともに事業所内に重要事項類を掲示しております。	・職員間で内容の確認をし、保護者様からの質問には随時対応していけるようにいたします。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	・アセスメントシートやモニタリング、支援終了後の保護者様とお話し合いによって意向などをお聞きしております。	・今後も同様に取り組んでまいります。

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・契約や契約更新時等で支援内容の説明を行い、保護者様から同意を得ております。	・支援のねらいがどこにあるのかということが伝わるように保護者様の立場に立って説明を心がけるようにしてまいります。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・随時面談を行っております。	・毎回の支援後のフィードバックでも気軽に相談いただけるよう今後も取り組んでまいります。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・今年度保護者会などは開催しておりません。	・相談しやすいように、保護者様やお子さまとお話をする機会について周知を大切にしております。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・事業所受付者、解決責任者を選任し受付体制を整えております。相談や申し入れに対しては社内フローを定め迅速かつ適切な対応を行っております。	・相談をしやすいように、保護者様やお子さまとお話をする機会について周知を大切にしております。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・インスタグラム、LINEでの発信や教室内に活動内容やイベントのご案内等を掲示しております。	・今後もできる限り発信を行ってまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報記載された書類は鍵付き書庫に保管しております。また個人情報にアクセスできる端末はパスワードを設定する等、適切な対応を行っております。	・個人情報の取り扱いに関する研修を開催しております。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・合理的配慮を推進し、お子さま、保護者様の状態に応じてICTやその他視覚的情報などを活用して意思疎通、情報伝達等を実施しております。	・ケースに応じて柔軟な対応を心がけてまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・月に数回イベントを開催し、無料で見学、体験できる機会を設けております。	・今後も同様に取り組んでまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・マニュアルを策定し、定期的に研修、訓練を実施しております。	・今後も、年度始めに防災計画を立て実施してまいります。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・月に1回の避難訓練を実施しております。	・今後も、年度始めに防災計画を立て実施してまいります。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・保護者面談や支援者会議等でお子さまの状況を確認しております。	・今後も同様に取り組んでまいります。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・すべてのお子さまにアレルギーの有無を確認し、指導時に該当物質との接触が起こらないよう留意しております。	・飲食の提供は行っておりませんが、同様に取り組んでまいります。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・定期的に点検、研修、訓練を実施し、安全管理を行っております。	・今後も同様に取り組んでまいります。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・契約時に丁寧な説明を実施しております。	・今後も同様に取り組んでまいります。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハット事例が起こった際にはヒヤリハット報告書を作成、保管し、職員間で共有しております。	・事例を知ることで発生の防止につなげてまいります。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・マニュアルを策定し、定期的に研修、訓練を実施しております。	・今後も県や市が開催する虐待防止研修に積極的に参加し、そこで得た情報を事業所内虐待防止研修で共有してまいります。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・マニュアルを策定し、定期的に研修、訓練を実施しております。保護者様へは契約時に丁寧に説明し、個別支援計画の特記事項にも記載しております。	・今後も計画書への記載を行い、緊急時の対応について事前説明を行っていくようにいたします。